



今日のテーマ



ブラジル

ブラジルレアルの見通し

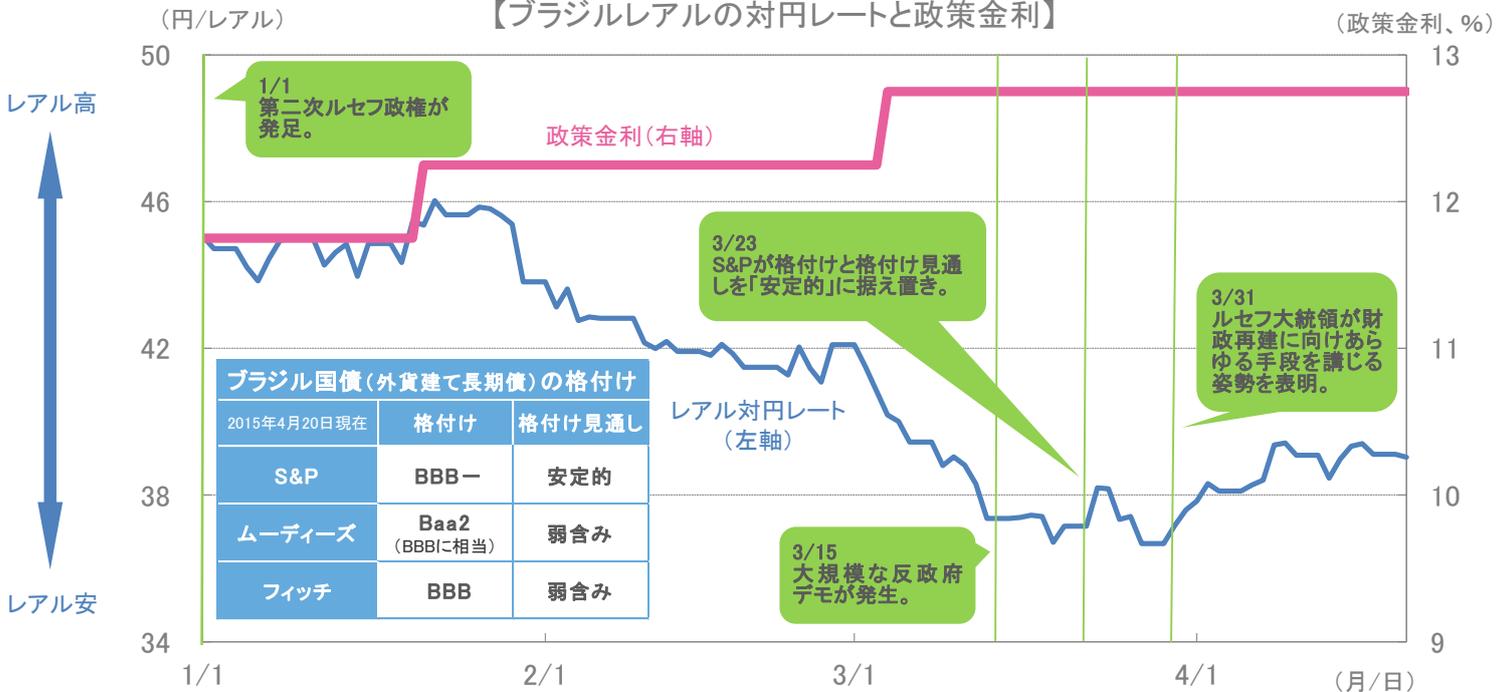
Q レアルの持ち直しが続く要因は？

A 政府の財政再建策の着実な実行、それによる国債の格下げ懸念の後退、物価高抑制による企業・消費者マインドの改善などが考えられます。

- 景気低迷、物価高、汚職問題などからルセフ大統領の支持率は低迷しています。景気抑制的で不人気の財政再建を進める背景には、国債の信用力維持があります。
- 主要格付け機関は、国債の格付けを投資適格級(BBB-以上)に維持しています。財政規律が緩み格下げの可能性が高まると、資金逃避などからレアル安がさらに加速する懸念が高まります。

- これまでのレアル安は物価高の一因ともなり、ブラジル中央銀行は金融引き締めを行っています。物価高抑制が見えてくると、企業や消費者のマインドが改善し、景気への好影響が期待されます。
- 景気低迷のなか、財政再建と物価高抑制という景気抑制的な政策をあえて進め、レアルの信頼を高めることができるかどうか、足元で底入れしつつあるレアル上昇のカギを握ると見られます。

【ブラジルレアルの対円レートと政策金利】



(注)レアル対円レートと政策金利は2015年1月1日～2015年4月20日。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。